

逆境乗り越え、新たな未来の創造へ

# の到来を信じて

# 旅行業、今年の巻き返しはいかに

## 国内活性化へ、旅館・ホテルと連携が不可欠

**出席者** (順不同)

JTB社長 山北 栄二郎氏  
 KNT-CTホールディングス社長 米田 昭正氏  
 日本旅行社長 堀坂 明弘氏  
 東武トップツアーズ社長 坂巻 伸昭氏

司会＝本社取締役編集長・森田淳

## 20年の旅行業界を回顧

2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催。世界中から観戦する人々が来日し、国内の隅々まで多くの観光客が押し寄せた。旅行業界の誰もがそんな光景を予想したが、新型コロナウイルスの発生によって無残に打ち砕かれた。

政府によるGo Toトラベルキャンペーンで客足は一時、回復をみせたが、先行きは不透明だ。ウィズコロナ・アフターコロナ時代の旅行業はどうあるべきか。本紙恒例の旅行業大手4社トップによる新春座談会で語っていただいた。



坂巻氏

2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催。世界中から観戦する人々が来日し、国内の隅々まで多くの観光客が押し寄せた。旅行業界の誰もがそんな光景を予想したが、新型コロナウイルスの発生によって無残に打ち砕かれた。

政府によるGo Toトラベルキャンペーンで客足は一時、回復をみせたが、先行きは不透明だ。ウィズコロナ・アフターコロナ時代の旅行業はどうあるべきか。本紙恒例の旅行業大手4社トップによる新春座談会で語っていただいた。



米田氏

2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催。世界中から観戦する人々が来日し、国内の隅々まで多くの観光客が押し寄せた。旅行業界の誰もがそんな光景を予想したが、新型コロナウイルスの発生によって無残に打ち砕かれた。

政府によるGo Toトラベルキャンペーンで客足は一時、回復をみせたが、先行きは不透明だ。ウィズコロナ・アフターコロナ時代の旅行業はどうあるべきか。本紙恒例の旅行業大手4社トップによる新春座談会で語っていただいた。

## さまざまに緊急対策 改革で社内にもメスを

山北 米田

山北 年初はまさかここまで長引くとは、予想をしていなかった。3月ごろから売り上げが少しずつ減少し始め、4月、5月はほぼゼロに近い状態にまで陥ってしまった。

そうした中で、まずは会社の体質を変え、この状況を乗り越えるために、さまざまな緊急対策、経費削減策を3月の段階で打ち出した。

ただ、想定以上に売り上げの減少幅が大きく、対策してもなかなか追いつけない状況だった。

一方で、需要回復に向けた動きとしては、JTB旅ホ連連（JTB協定旅館ホテル連盟）の皆さまの協力を得て、地域の需要喚起のための事業を、Go Toトラベルキャンペーンが始まる前に行

た。個人のお客さま向けのクーポン施策は、特定の地域については非常に効果があった。起爆剤になったのだが、まだまだ本格的な回復までには

すが、実施できなかったが、宣言解除後に現地へ足を運び、各地の状況を学ぶことも、少しでも現地の最新情報や魅力を発信できるように取り組んだ。そのような取り組みを年度の上半期に行った。

Go Toキャンペーンが始まってからは、風向きが少しずつ変わってきた。東京都の外出が解除されるまで、なかなかお客さまが戻らないところがあったが、10月以降東京都がキャンペーンに加わってからは、ロングファンが少しずつ動き始めた。ただ、感染状況によってお客さまの動向も変化し、いまだに先が読めないところがある。

ただ、夏になると絞った分をはるかに上回る赤字となり、さあ、どうしようと考えたのが、全その事業を一度中止すること。その時と同じ感覚を投げ出して、将来的にあるものや、何とか集客が続くだろうという部分だけを拾おうとした。

下呂泉



# 水明館

〒509-2206 岐阜県下呂市幸田 1268

TEL (0576) 25-2800 FAX (0576) 25-4520 <https://www.suimeikan.co.jp/>

# 謹賀新年

